

箱わなによる

シカ・イノシシの効率的な捕獲

兵庫県森林動物研究センター

様々なわなの種類



くくりわな



ドラム缶わな



ドロップネット



箱わな



囲いわな

一般的なわなの種類と特徴

箱わな

罠いわな

くくりわな

捕獲方法

餌付けによる捕獲

動物に気付かれ
ないよう捕獲

難易度

容易

難しい

購入費用

高い

安い

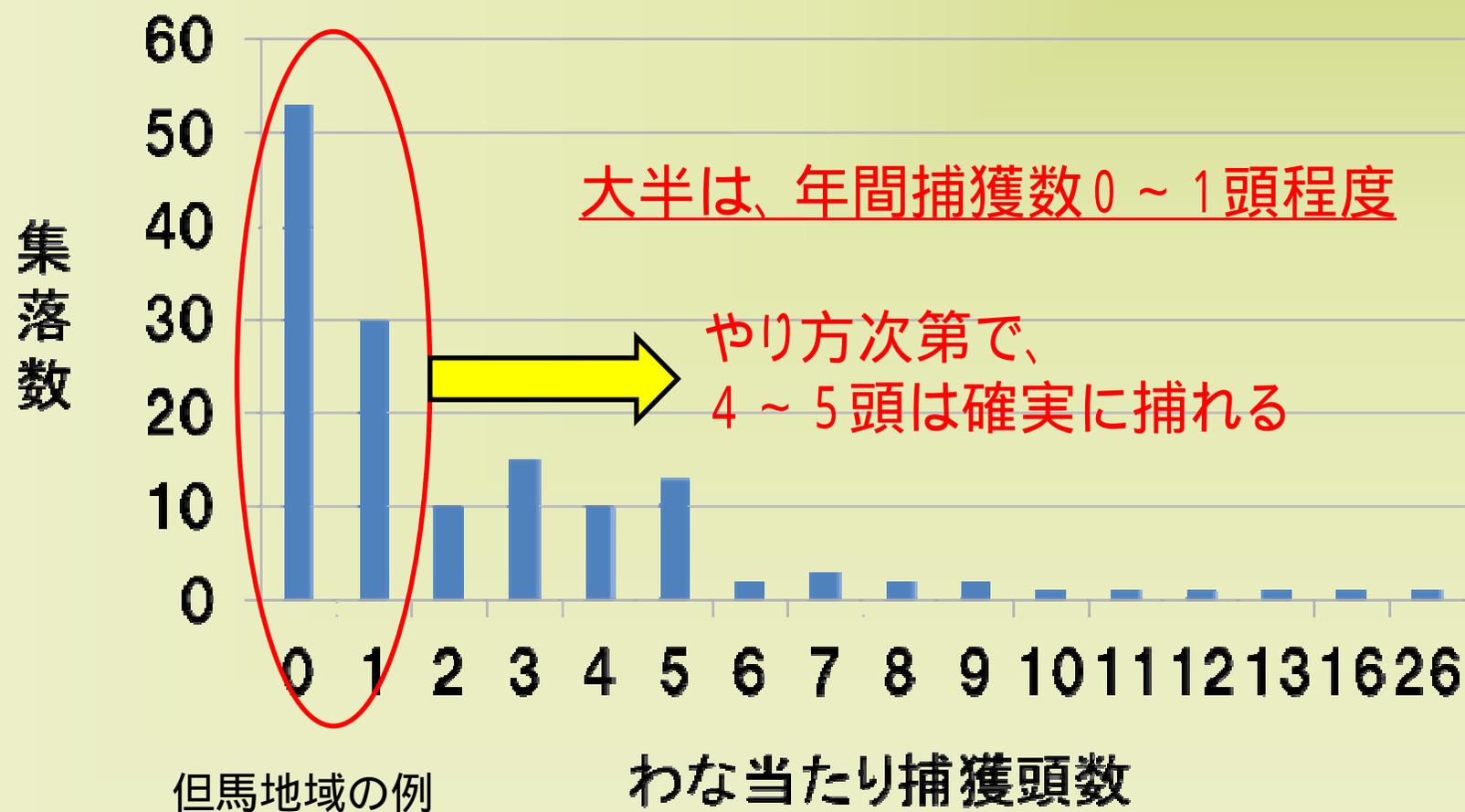
移動性

中

ほとんどなし

高い

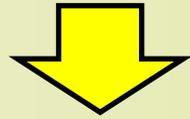
行政が配布している 箱わなと罫いわなの捕獲状況



箱わな捕獲の流れ

ステップ1

場所を決める



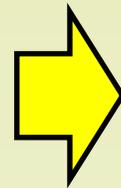
ステップ2

餌付けで誘引



ステップ3

餌付けを続けて
警戒心を解く



ステップ4

捕獲する

(1) わなの設置場所の選定

ポイント

捕獲効率の向上には、動物の都合を優先させることが重要

動物側の都合

獲物がよく出る場所
山から近い場所

>

人間側の都合

車でのアクセスがよい場所
設置に適した平坦な場所
人の出入りが少ない場所

動物の出没状況を把握

- ライトセンサス

複数の候補地を選定



- 被害や痕跡の状況

獲物の種類を確認



- 餌づけで確認

食いつき具合を確認



痕跡(糞)



イノシシの糞



シカの糞

痕跡(被害)

イノシシの掘り起し痕

春先のタケノコと秋のクリは、
シカ・イノシシの大好物



痕跡(足跡)

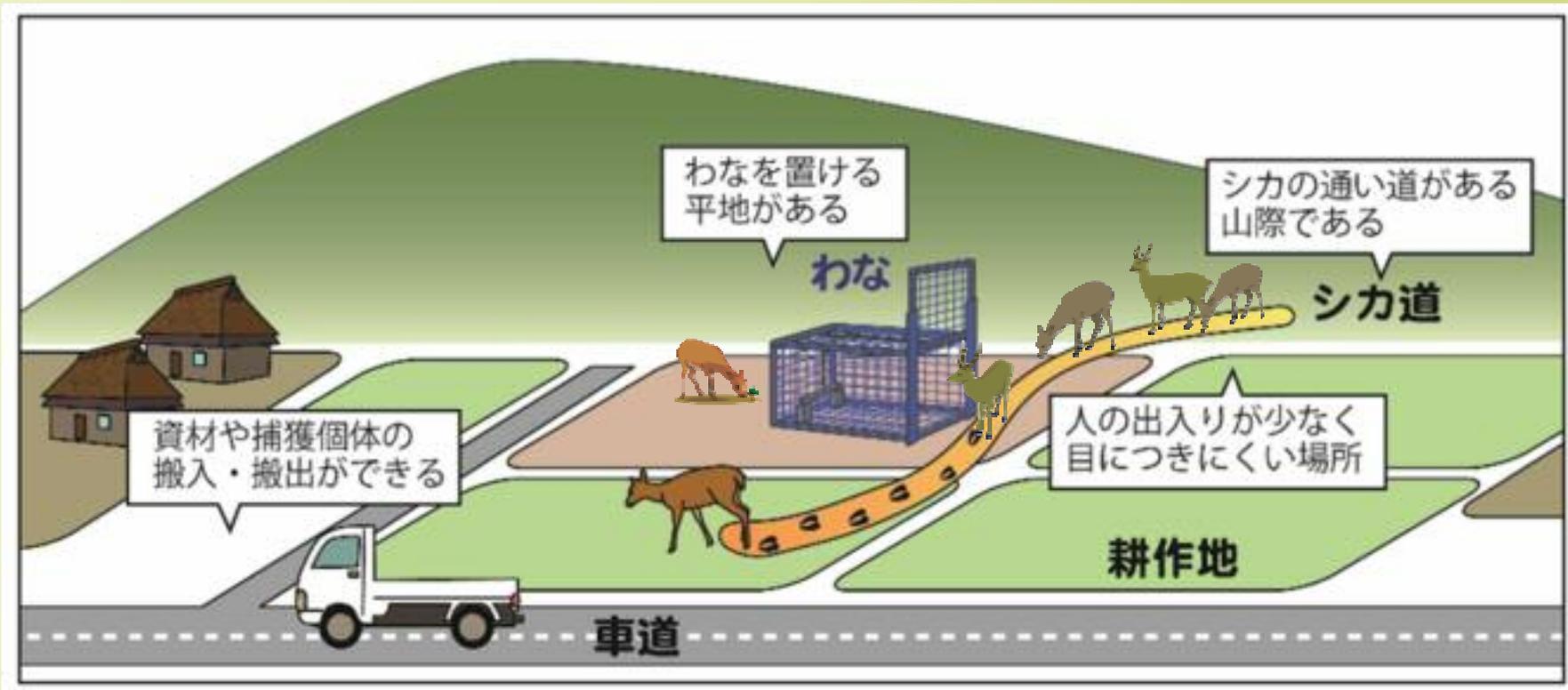


イノシシの足跡



シカの足跡

管理上の都合も考慮



(2) 餌付けによる誘引

ポイント

はじめは、警戒しながら餌を食べている。

捕るのは後、警戒心を解くのが先

まず、捕獲時とできるだけ同じ状態で
わなの扉だけは落ちないように固定する。

(仕掛けもあらかじめセットしておく)

わな付近の獣道に餌をまく

わなの周辺や入り口付近にまく

餌が全部食べられたら…

扉は固定したまま、わなの中に餌
をまく



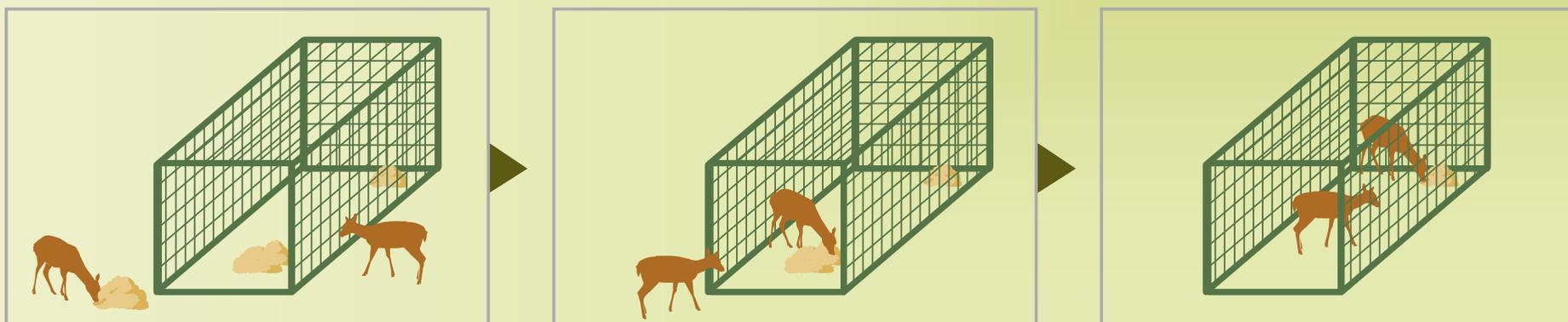
誘引|初期の様子



(3) 警戒を解く餌付け方法

ポイント

警戒心の高い獲物も、餌まきの工夫で徐々に慣らす



最初は、わなの外側にも餌をまく。
餌の減り方を見ながら、徐々にわなの奥に餌を集め、誘導する。
警戒を解くには、数日は必要。
毎日欠かさず、1日で食べきれる量の餌をまく。
一番奥の餌が完食されるようになれば、餌付け完了！

誘引中期の様子



(4) 捕獲

ポイント

十分に獲物の警戒心が解けたら、いよいよ捕獲



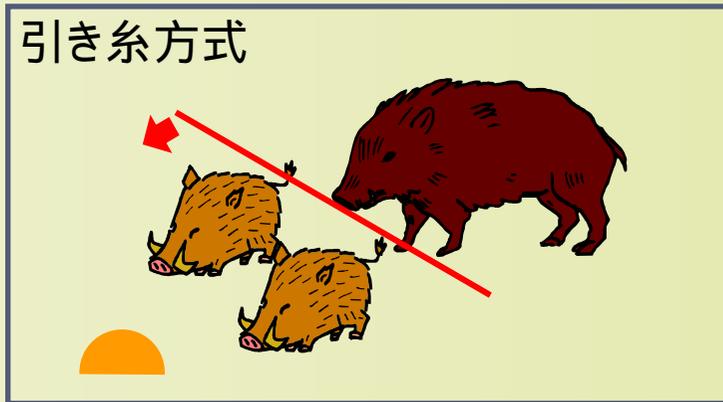
餌を外から取られない程度に、なるべく奥の方にまく。仕掛けをセットし、スムーズに扉が落ちるか、十分に予行演習をする。

仕掛けのセットは、必ず有害捕獲の許可者が行ってください!!

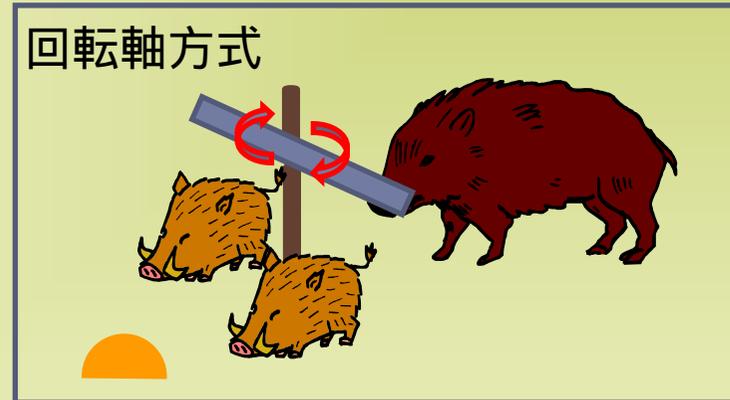
落とし(トリガー)の種類と工夫

落としのセットは、必ず有害捕獲の許可者が行ってください

引き糸方式

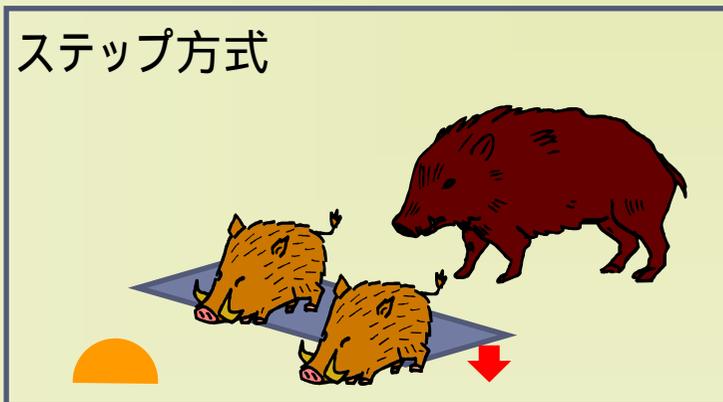


回転軸方式



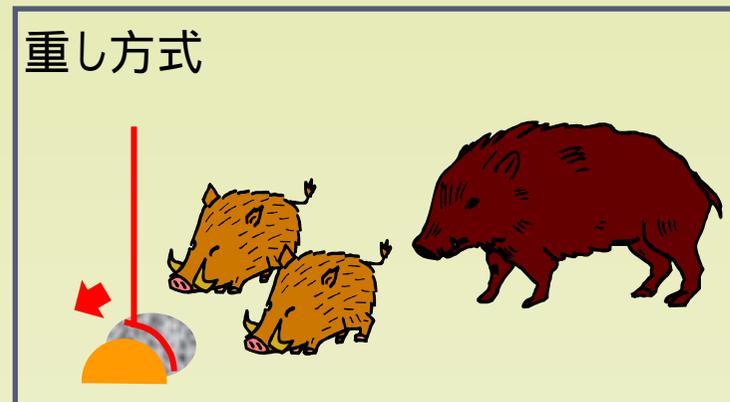
獲物の体高に合わせて調節

ステップ方式



獲物の体重に合わせて調節

重し方式



獲物の馬力に合わせて調節

成功のカギは餌付けが成功するかどうか

時期や場所によっては、餌付けが難しい場合がある。

- 動物にとってより魅力的な他の餌がたくさんある
- 季節により出没しにくい場合がある
- わなを学習し警戒心が強い獲物がいる



しばらく餌付けをしても、餌が食べられないときは

- ・餌の種類工夫 ・他の餌(農作物等)の管理
- ・場所を変える ・無理せずしばらく休む などの工夫を

餌が食べられた時はチャンスなので、

餌を食べさせ続け、警戒心を解き、わなに誘引する。

箱わな・罠いわな捕獲のポイント

その1

わなの設置場所は動物目線で！

その2

わなへの警戒心を解く餌付けを！

その3

十分に餌付くまで、扉は落とさない！

その4

仕掛けの高さや位置を工夫する！

その5

餌付けが完了したら、仕掛けをセット！

その6

獲れなくなったら場所移動！

箱わな捕獲のマナー

餌のやりすぎに注意：過剰な餌やりは、腐敗による悪臭などの問題を生む恐れがあります

捕獲時の対応は迅速に：捕獲した獲物の放置は、捕獲効率の低下や事故につながる恐れがあります

わなのメンテナンスは頻繁に：壊れかけのわなでの捕獲は、深刻な事故を引き起こす恐れがあります

餌付けた獲物は確実に捕る：野生動物への餌付けは被害を助長する恐れがあります

落としのセットは最短で：捕獲待機状態のまま長期間放置すると事故が起こる恐れがあります

箱わな捕獲の課題

一度に捕れる数に限りがある

狭い箱わなには、周辺に生息する獲物が全て入るわけではない。逃げた動物の警戒心は、再び高まる。



< 対策 >

十分な餌付け: 事前の餌付けが十分であれば、高まった警戒心が解けやすい

迅速な止め刺し: なるべく他の獲物には知られないように

場所の移動: 同じ場所は、しばらくあきらめて他の場所で効率的に捕獲

囲いわなの導入: 群れごと誘引して一網打尽に